

【山崎主宰の俳句】

大和は吉野

山崎 聰

毛虫焼くことからはじめ山暮し  
きょうその日いちにちだけのねむの花  
八月の大和は吉野戦争へ  
真夜中の異物としての冷蔵庫  
どこまでも男と女盆踊り  
土用丑の日海を見て空を見て  
熱帯夜ひとり置いてゆかれけり  
三伏のけものめきたる草の丈  
彼および彼女らそして合歡の花  
縁あつて月夜のバーボンウイスキー